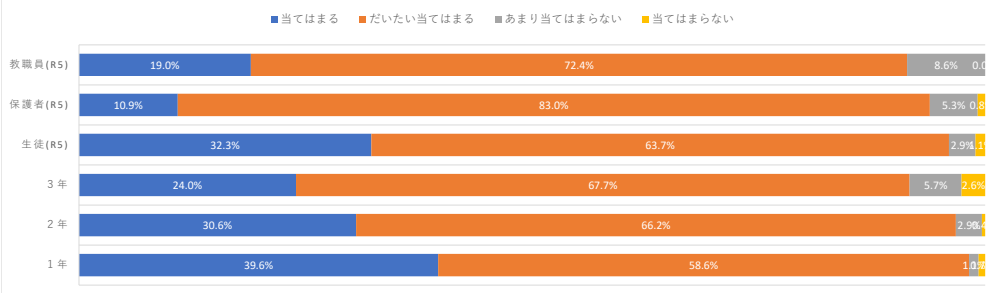


令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

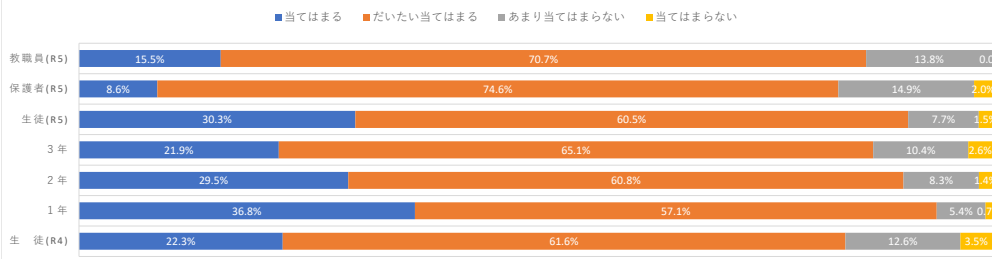
設問1 塩釜高校では、学校としてスクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている



分析と対策

本校スクールポリシーについては、当てはまる・だいたい当てはまると回答した生徒は50%超え、保護者は50%を下回った状況のなかで、保護者(93.9%)・生徒(96%)とともに肯定回答が高かったことから、生徒の実状に即した教育課程であると捉えていただけていると考える。今年度、在校生教育課程についても修正を加え、令和7年度入学生教育課程については、さらに本校のスクールポリシーに基づいたカリキュラムとすべく、大幅な修正をおこなう予定で検討中である。

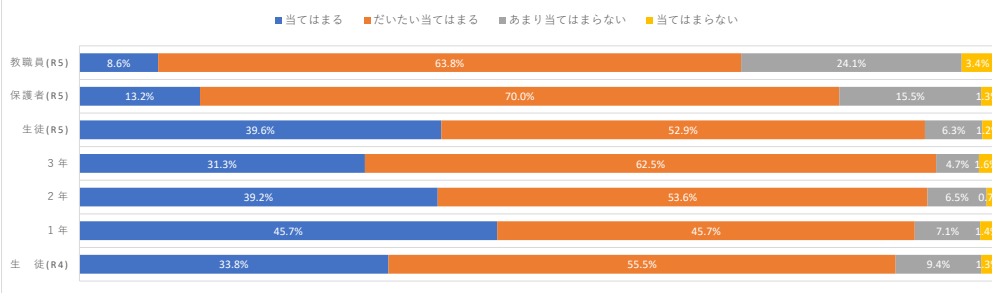
設問2 塩釜高校では、生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。



分析と対策

生徒の肯定的評価は今年度は90.8%（前年度83.9%）、保護者の肯定的評価は83.2%（前年度79.1%）と昨年より生徒が6ポイント、保護者が4.1ポイント上昇となった。また昨年は普通科とビジネス科での学問の差が開いたが今年度はほぼ差もなかった。新学習指導要領に基づく「観点別評価」が実施され、日々の授業の改善や、今年から貸与されたiPad利活用の促進が図られたことが、生徒の意欲・関心を引き出す授業となったと考える。今後は授業と家庭学習のサイクルを構築していくことで、一過性になりがちな学習状況を改善してまいりたい。

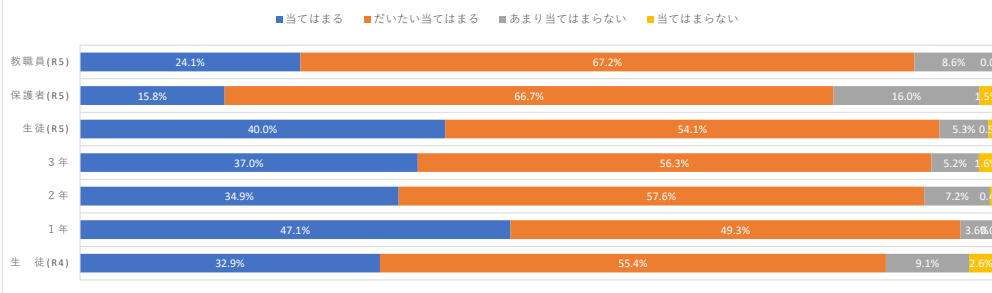
設問3 塩釜高校では、生徒に対して挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。



分析と対策

今年度は全職員で登下校時の立ち番指導や朝の昇降口指導も不定期ではあるが取り組んでまいりました。教員のこれらの活動を通して生徒たちも挨拶する習慣が根付いてきた結果、おおよそ8割以上の肯定的評価があったと考えられます。その一方で、教職員の評価がやや低くなっている状況です。まだまだ指導できる余地があると捉え、今後も生徒たちの健全な成長を促す取り組みを進めてまいります。

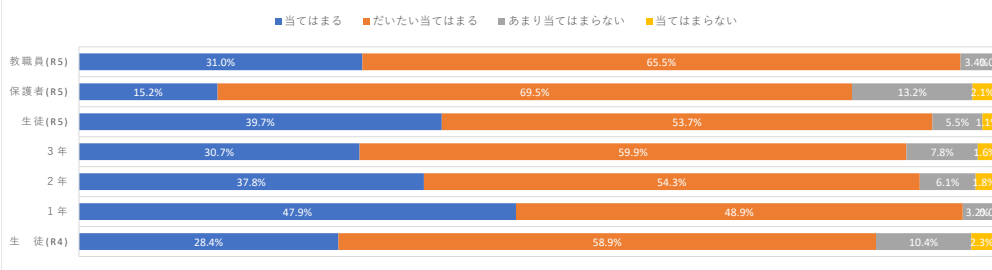
設問4 塩釜高校では、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。



分析と対策

令和4年度と比較すると肯定的意見の割合が増加しました。生徒の肯定的意見が90%を超えているのに対して、保護者の肯定的意見が82%であり、この差を改善する方策を考えていく必要があります。日頃より進路情報を保護者に対してもっと発信していくことが必要だと感じました。生徒に対しては、自己の適性を考える機会を増やし、早期の進路目標設定に繋がりたいと考えています。進路ガイダンスや模擬試験などの外部の刺激を有効活用し、生徒個々に応じた個別指導を増やすなど、コミュニケーション能力や探求する力を身につけさせる進路指導を継続させていきたいと考えます。

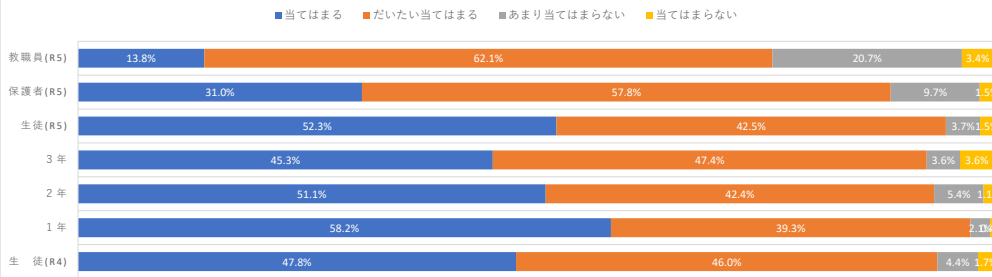
設問5 塩釜高校では、生徒に対して教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。



分析と対策

生徒の肯定的評価は93.5%（前年度87.3%）、保護者の肯定的評価は84.7%（前年度81.5%）と昨年度よりも生徒が6.2ポイント、保護者が3.2ポイント上昇しており、概ね良い評価をいただいています。基本的な感染予防は継続しながらも通常の学校生活に戻ってきておりますが、新型コロナウイルスの影響による学校生活の変化は生徒に人間関係や集団生活への不安を与えるものとなり、サポートが必要な生徒が増えました。これからも全職員で生徒の心に寄り添い、保護者のサポートも行っていきたいと考えております。

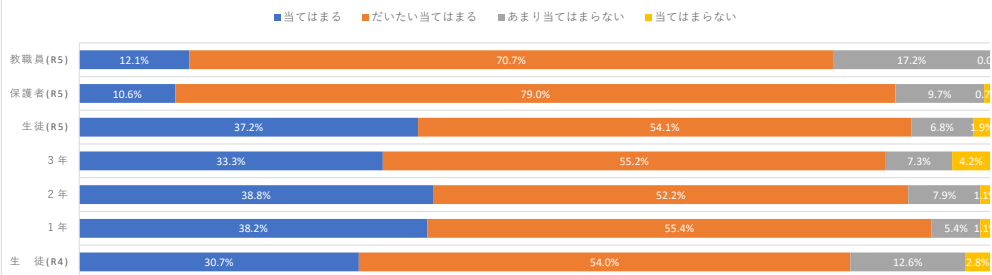
設問6 塩釜高校では、部活動は活発に行われている。



分析と対策

本校では、部活動は人間形成や人間関係構築、精神的な鍛錬等、授業だけでは得られないものを身につけることができる重要な活動と考えており力を入れています。今年度は、ある程度制限がなくなり大会が開催され、日頃の活動の成果を発揮できたことも9割を超える肯定的な生徒の評価に繋がったと考えています。今後も学業との両立を図れるように工夫し、ご家庭との連絡・協力も密に取りながら、さらに活発な充実した活動ができるようサポート体制を構築していきたいと思っています。

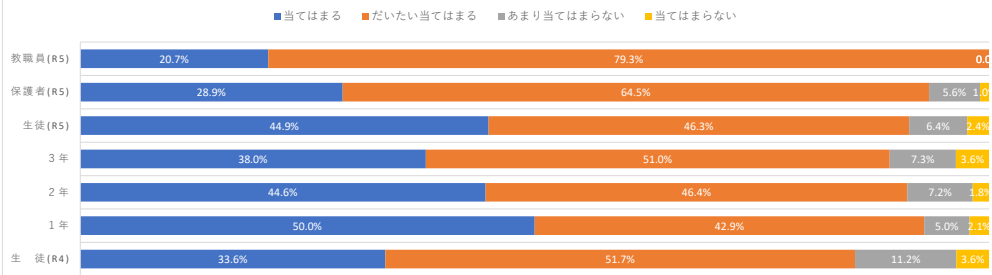
設問7 塩釜高校では、生徒会活動は活発に行われている。



分析と対策

一般生徒が生徒会活動に関心を持つケースが増えていることにより、昨年度より肯定的な評価の上昇に繋がっていると考えられます。一つは生徒会役員選挙に立候補する生徒も増え、信任投票でなく、通常選挙を実施することができました。また、生徒総会での意見と要望が増え、生徒会も多岐に渡って活動できる下地ができました。今後も生徒自身の大切な会として、一般生徒が主体的に取る組める活動を目指して行きます。

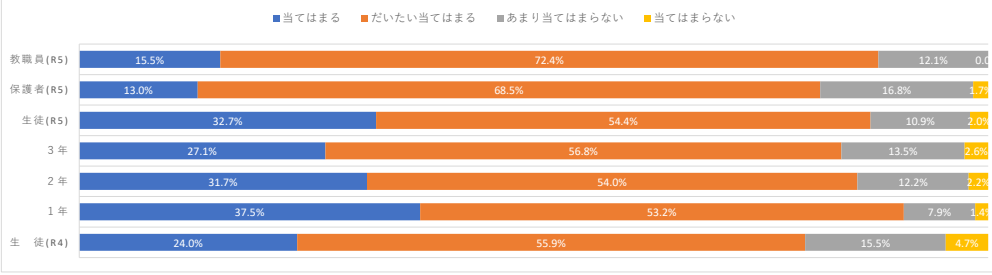
設問8 塩釜高校には、生徒にとって有意義な学校行事がある。



分析と対策

今年度は、感染対策を徹底しながらでも、各種行事を通常開催できたことが、全体的に9割以上の肯定的な評価に繋がっていると考えています。文化祭や体育祭では多くの生徒の楽しく充実した姿を目にすることができました。実行委員会などで生徒の意見を柔軟に取り入れながら今後もさらに生徒が主体性を発揮できるような工夫をして、より良い行事を目指して進めていきます。

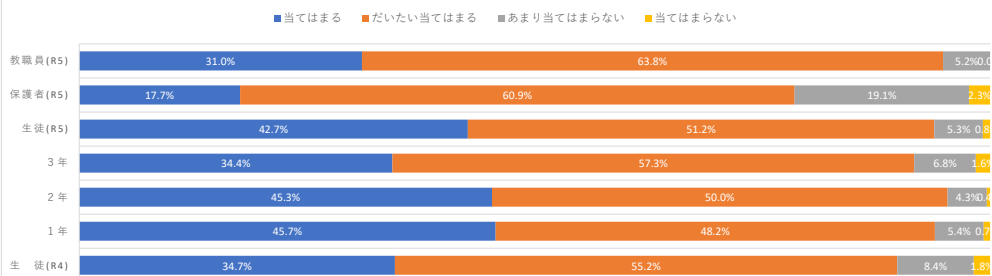
設問9 塩釜高校では、学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



分析と対策

生徒の肯定的回答87.1%（前年79.9%）、保護者の肯定的回答が81.5%（前年76.0%）、教員の肯定的回答が87.9%（前年84.1%）となりほぼ前年度より上昇した。P T A総会、授業公開週間、文化祭一般公開の再開、学校の姿を保護者に見ていただける機会が増えたことが大きな要因と考える。また普通科の肯定的回答が99%とビジネス科より高い。（ビジネス科82.2%）。普通科「総合的な探究の時間」における「塩釜学」の施行や「塩釜まちづくり活性化プロジェクト発表会」の成果と捉えている。今後も地域の教育資産をより一層活用するとともに、生徒の学習の成果を地域に発信していく取り組みを継続してまいります。

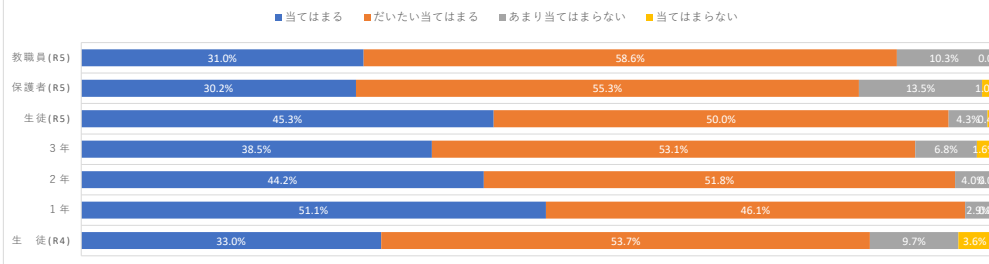
設問10 生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。



分析と対策

生徒による評価が、肯定的回答93.9%となり昨年より+4%となった。今年度も6月と10月の防災避難訓練を実施することができた。今年度は、6月に西ヶ丘バス、10月の訓練では東ヶ丘バスに、塩釜消防署の方々に来校していただき、指導・助言と講話をいただきました。また、1学年には塩釜市の出前授業を活用した防災教育を実施したことが高い評価につながっていると思われる。保護者の評価では、今年度も肯定的回答が78.6%と昨年度(78.8%)と同じ評価であった。来年度こそは、訓練の様子や防災に関する情報を学校のホームページ等で発信していきたいと考えている。

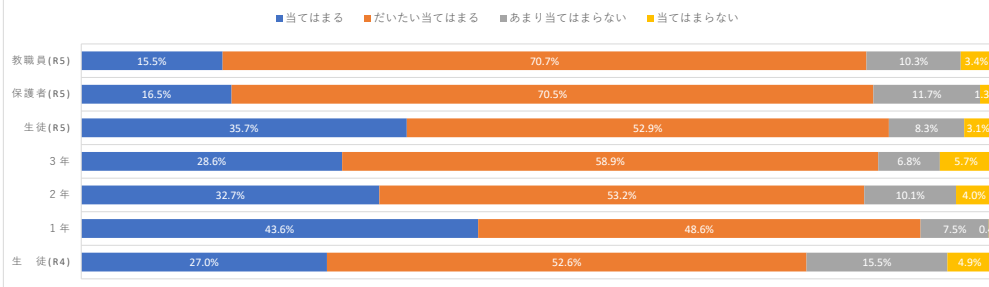
設問 1 1 保護者に対して、ホームページやメール配信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。



分析と対策

生徒による肯定的回答が95.3%、保護者による肯定的回答は85.5%と昨年よりさらに向上した数値となっており、学校の情報は適切に伝えられていると考えられる。これは、引き続き感染症対応を迫られながら、その都度、文書・一斉メール配信・ホームページ等で情報の受発信を行った成果と思われる。今後、社会全般のコロナ禍以前への回帰によって、さまざまな注意喚起が必要な場面も増加すると考えられる。今後も安全で開かれた学校作りのために積極的な情報発信に努める必要があると考えている。

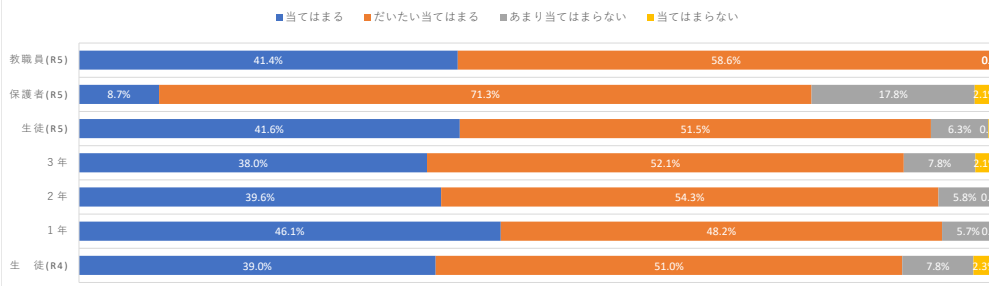
設問 1 2 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。



分析と対策

西キャンパスは築後27年、東キャンパスは築後35年を経過していることから、建物及び設備の不具合等も年々増加してきており、施設整備について、中長期的な当構計画を具に提出するとともに、突発的な不具合等は、随時、予算措置を要望し対処しています。その中でも、工事・修繕案件への速やかな対応やグラウンド整備等が目に見える形となり、前年度よりもよい評価に繋がったと考えられます。今後とも、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全な施設環境の整備を図って参ります。

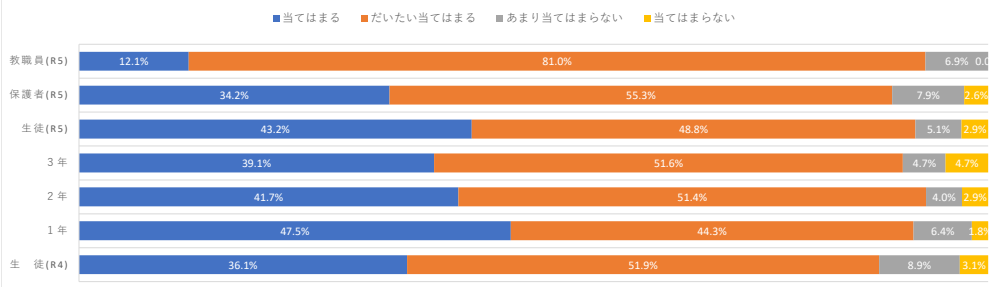
設問 1 3 塩釜高校は、アンケート結果等により、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。



分析と対策

今年度は、昨年度より回数も多く設定し、定期的にいじめアンケートに関する調査を実施しました。さらに日頃のクラス内や部活動で活動している生徒達を注意深く見守る体制を作ってきました。その取り組みが全体的に肯定的な評価に繋がっていると考えられます。今後もこの取り組みを続けるとともに、保護者との連携をより強く図っていくことが今後の課題であると思います。

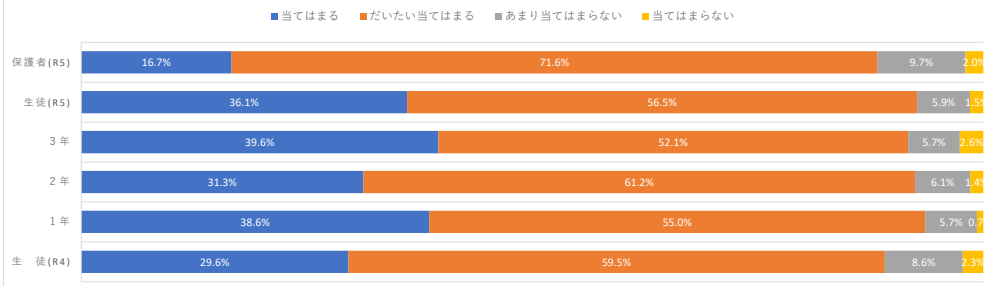
設問 1 4 生徒の学校生活は充実している。



分析と対策

生徒の肯定的回答が89.5%（前年88%、前々年85.8%、前々々年84.4%）と4年連続して増加、保護者の肯定的回答も89.5%（前年85.6%）と上昇した。今年はコロナ5類移行により、可能な限り日常生活や学校行事をおこなうべく準備を進めてきた。生徒の肯定回答が増加したのは、修学旅行・文化祭・体育祭など主要行事の実施、各種部活動大会の実施がなされたことが大きい。特に文化祭の一般公開を再開できたことにより、多数の方々に来校していただき、生徒達にとって充実した行事となったと考える。

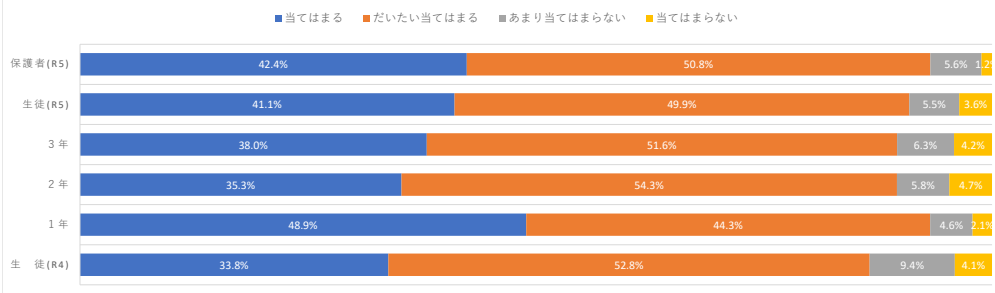
【学校独自】設問 1 5 塩釜高校の進路状況は満足できるものである。



分析と対策

令和4年度よりも肯定的な意見が数ポイント上昇しました。本校の進路希望は多種多様で、大学短大、専門学校、就職、公務員と幅広い分野に及んでいます。進学は近年、総合型や学校推薦型選抜いわゆる年内入試で大部分の生徒が進路を決定させる状況にあります。受験準備の途中で「入りたい大学」から「入れる大学」へ目標を変更する事例も多々あります。第一希望に向かって一般受験でも対応できる力をつけさせたいと考えています。

【学校独自】設問 1 6 塩釜高校に入学してよかったと思っている。



分析と対策

生徒の肯定的な回答が91%（前年86.6%）、保護者の肯定的な回答が93.2%（前年86.4%）とともにポイントが上昇した。普通科生徒は90%（前年85.5%、前々年87.6%）と2年連続でポイントを落とすとして今年は上昇、ビジネス科生徒も90.8%と（前年89.8%、前々年81.7%）とわずかにポイント増となった。学年別で見ると、1学年の肯定回答の割合が高く、学年が上がるにつれて数値が下がっていくのが例年であるが、今年は普通科に関しては2学年の肯定意見が一番低い結果となった。引き続き生徒達が勉学・部活動・行事とおして関係性を深め、そして自身の成長とともに進路実現を達成することができる学校を目指したい。